

Image Information Inc.

平成29年3月期 決算説明会

平成29年6月14日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

II 平成29年3月期 決算概要

III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分

IV 新設会社分割計画

V 中期経営計画（計数計画）

VI 今後の中期戦略



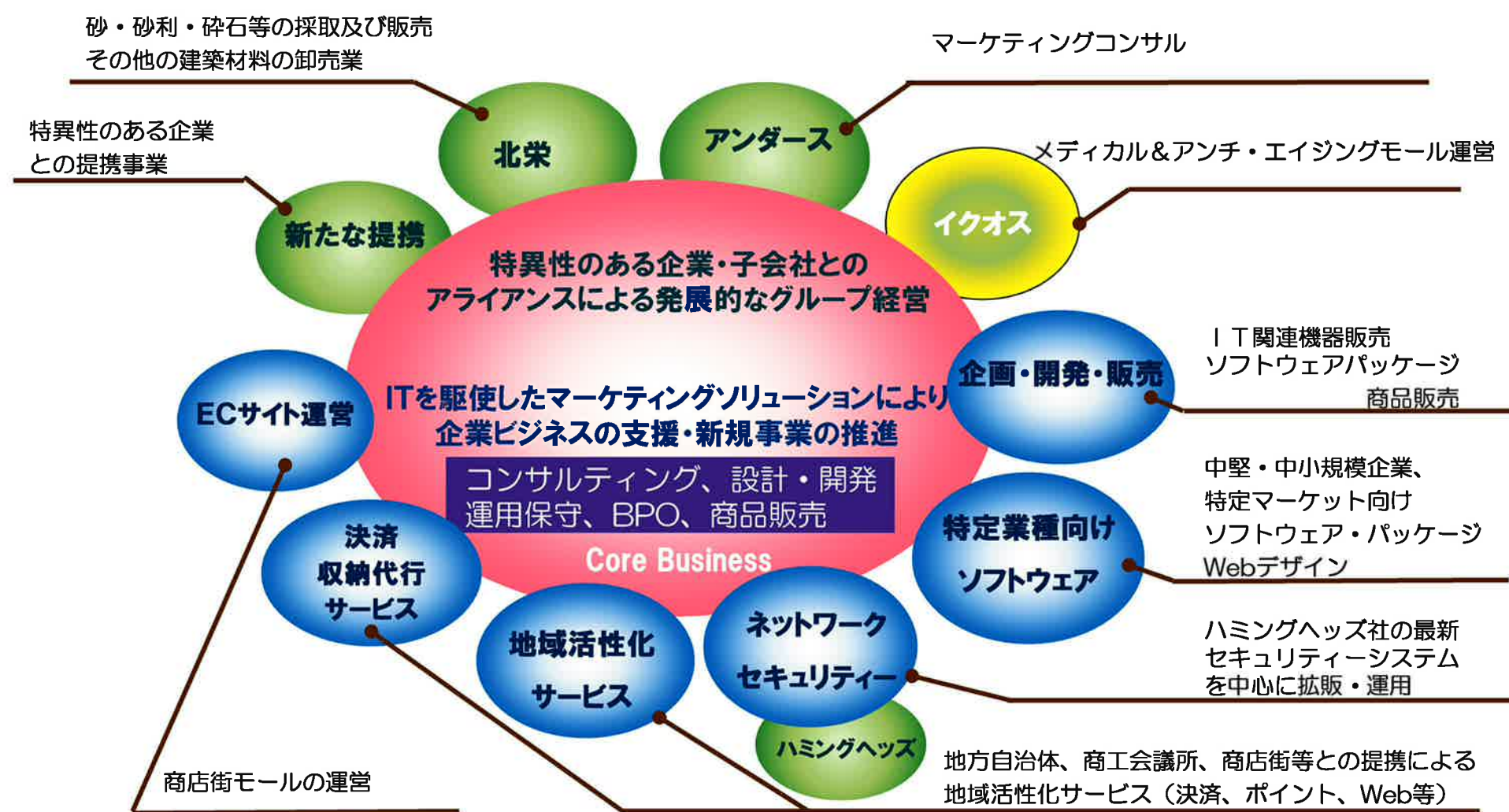
イメージ情報開発株式会社 会社概要

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 衛
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子 会 社】	イクオス株式会社
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4 月 JIビジュアルデータとイメージデータを複合処理する事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4 月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4 月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9 月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4 月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年 5 月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成23年 7 月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年 9 月 株式会社インスパイア（現株式会社アンダース）を子会社化 平成25年 8 月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化 平成25年10月 株式を200分割 平成27年 3 月 株式会社北栄を持分法適用関連会社から除外 平成27年12月 株式会社アンダースを子会社から除外



イメージ情報開発グループについて

「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。



■ 株式会社北栄の現状

株式会社北栄は、海砂採取、販売を主要事業としています。沖縄では那覇空港第2滑走路増設埋立工事が平成**28年5月**から行われております。

那覇空港工事とは別に、次に控える大型埋立工事開始が来年度以降開始される予定です。

公的機関による船舶増設資金調達等の関係から、持分法適用関連会社から除外しましたが、さらなる関係強化を目的に「業務提携契約」を締結し、引き続きコンサルティング支援を継続しております。北栄社の今後の業績は大幅に拡大するため、当社の収益にも大きく貢献することと予測しています。

北栄社では、さらなる大型案件受注のため、船舶の増設を、現在準備中であります。

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 決算概要
- III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分
- IV 新設会社分割計画
- V 中期経営計画（計数計画）
- VI 今後の中期戦略

バランスシート【連結】



【単位：百万円】

	平成28年3月期 年度末実績	平成29年3月期 年度末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	983	662	△320	△32.6
流動資産	395	222	△173	△56.2
固定資産	587	439	△147	△25.1
負債合計	341	276	△65	△19.2
流動負債	207	131	△76	△36.7
固定負債	134	144	10	7.6
純資産合計	641	386	△255	△39.8
負債純資産合計	983	662	△320	△32.6

- ✓ 流動資産：受取手形及び売掛金 129百万円減、短期貸付金 42百万円減
- ✓ 固定資産：貸倒引当金 169百万円増
- ✓ 流動負債：買掛金 64百万円減、未払法人税等 12百万円減
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 10百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 255百万円減



損益計算書【連結】

【単位：百万円】

	平成28年3月期	平成29年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率(%)
売上高	1,253	804	△448	△35.8
売上原価	990	729	△260	△26.3
売上総利益	263	74	△188	△71.7
販売管理費	192	123	△68	△35.8
営業利益	70	△49	△119	—
経常利益	62	△42	△105	—
親会社株主に帰属する当期純利益	37	△255	△292	—

- ✓ 売上高：大型サーバ入替終了により商品販売260百万円減、アンダース子会社除外影響96百万円減
- ✓ 経常損失／当期純損失：売上原価率上昇（79.0%⇒90.7%）、販売管理費68百万円減、特別損失211百万円（投資有価証券評価損19百万円、貸倒引当金繰入額188百万円）

■ 当期連結業績

◎ 売上高 804百万円(前期:1,253百万円)

(単位:百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成28年3月期	525	156	385	184	1,253
平成29年3月期	402	100	125	175	804
増減率	△23.5%	△35.9%	△67.4%	△4.8%	△35.8%

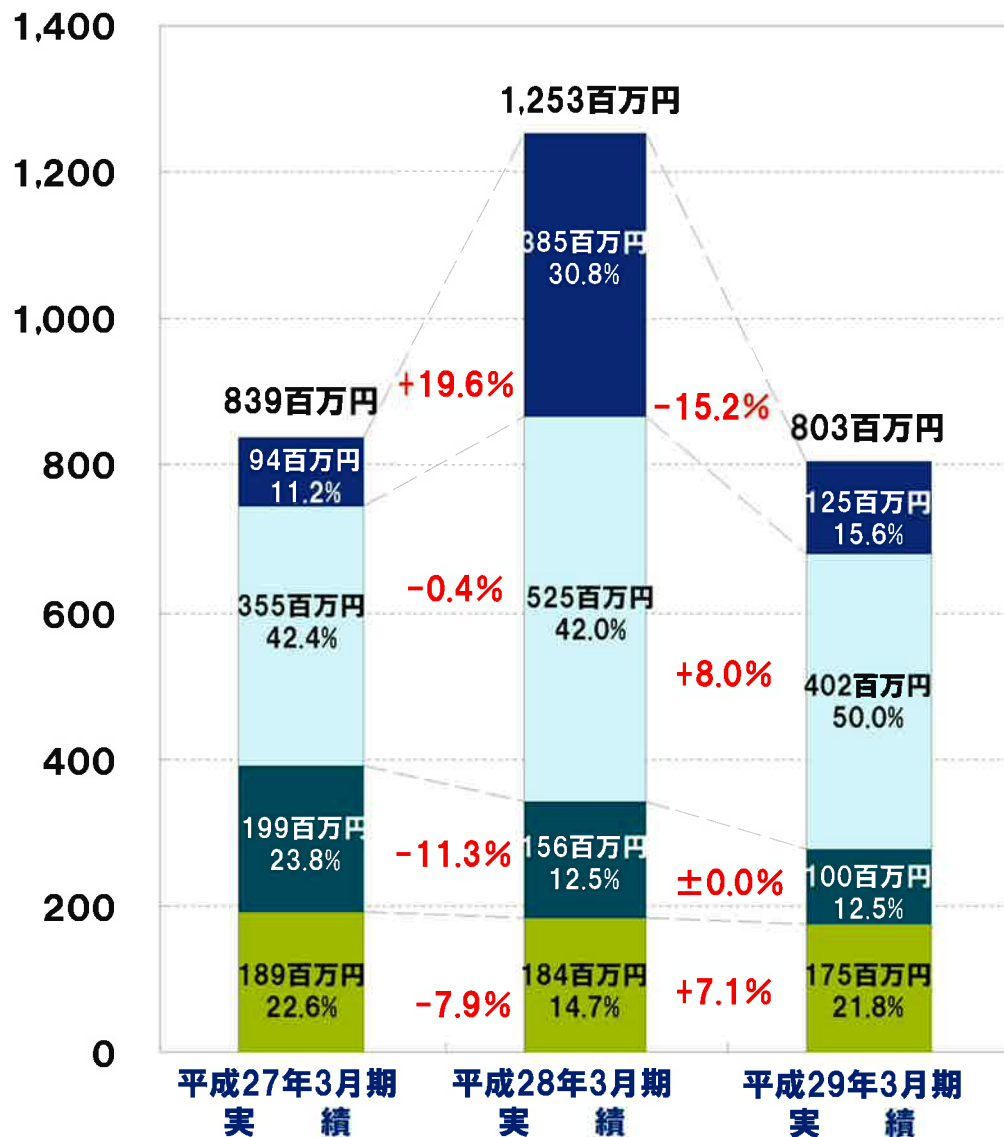
◎ 経常損失 △42百万円(前年同期:経常利益 62百万円)

◎ 親会社株主に帰属する当期純損失
△255百万円(前年同期:純利益 36百万円)



売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

大型サーバ入替終了により大幅減

コンサルティング/設計/構築

サーバ導入開発終了、アンダース連結除外により減少

運用/保守

アンダース連結除外により減少

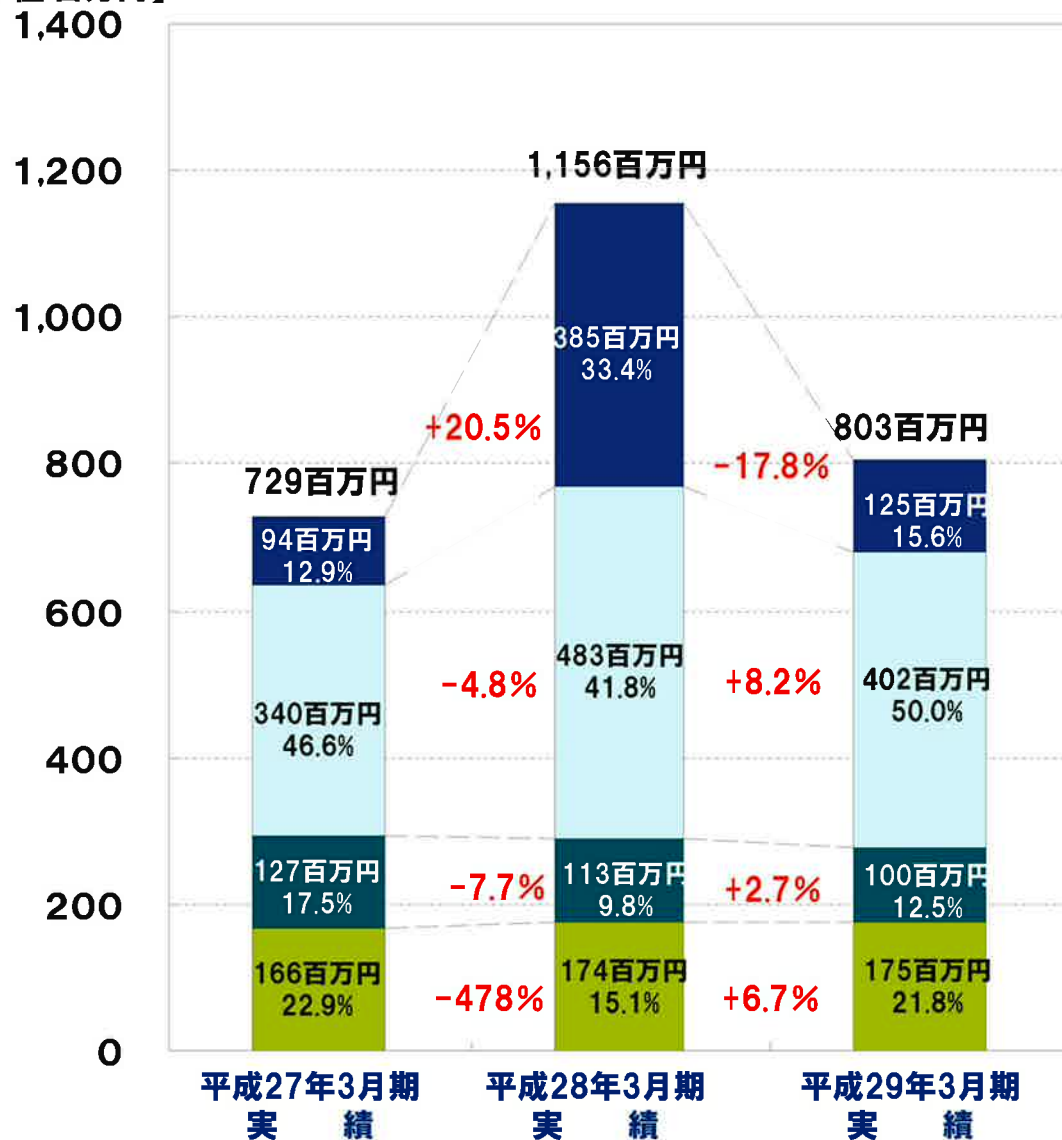
BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービス受注で堅調

株式会社アンダースを除いた売上構成【連結】



【単位:百万円】



商品販売

大型サーバ入替終了により大幅減

コンサルティング/設計/構築

大型サーバ販売に伴うシステム設計終了により減少

運用/保守

保守契約一部満了に伴い減少

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービス受注で堅調

キャッシュフロー【連結】



【単位：百万円】

	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	138	△ 24	△163
投資活動によるキャッシュフロー	△ 23	△ 0	23
財務活動によるキャッシュフロー	△ 32	25	57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	82	0	△82
現金及び現金同等物の期末残高	112	112	0

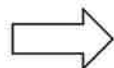
✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失	254百万円
✓ 投資活動CF：貸付による収入	142百万円
貸付による支出	144百万円
✓ 財務活動CF：借入による収入	60百万円
借入金の返済による支出	35百万円

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 決算概要
- III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分
- IV 新設会社分割計画
- V 中期経営計画（計数計画）
- VI 今後の中期戦略



資本金の額の減少及び剰余金の処分

当期純損失 251,593千円



利益剰余金 Δ 506,111千円

早期復配体制への移行

資本政策の柔軟性及び機能性の確保

単体の純資産の動き

【単位：千円】

現状	
資本金	467,050
資本準備金	510,270
利益準備金	2,000
繰越利益剰余金	Δ 508,111
利益剰余金合計	Δ 506,111
純資産	375,402



変動額
—
Δ 506,111
—
506,111
506,111
—



振替後
467,050
4,159
2,000
Δ 2,000
0
375,402

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 決算概要
- III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分
- IV 新設会社分割計画**
- V 中期経営計画（計数計画）
- VI 今後の中期戦略



新設会社分割計画

当社の経営理念

変革を求める企業・団体に対し、先進的ITを駆使した独創的サービスや機能の提供を通じ社会に貢献する

プラットフォーム事業への取組

多岐にわたる事業多角化

会社分割計画の骨子

商号をイメージ情報BI株式会社に変更

注) BIは、ビジネスインテグレーション (Business Integration) の略語であります。
ビジネスインテグレーションとは、革新著しいITを駆使した新機能やサービスを統合し、新しいビジネスモデル (業態) を創出することを意味します。

新会社の商号をイメージ情報開発株式会社とする

新会社は、現在の現業部門を承継

分割期日は平成29年10月2日

北栄社等へのコンサル事業は持株会社が継続

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 決算概要
- III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分
- IV 新設会社分割計画
- V 中期経営計画（計数計画）
- VI 今後の中期戦略

平成30年3月期の通期業績予想【連結】



(単位：百万円)

	平成29年3月期 (実績)	平成30年3月期 通期予想			
		上期	下期	通期	前年比(%)
売上高	804	436	447	883	109.8
営業利益	△49	25	36	61	—
経常利益	△42	25	36	61	—
当期純利益	△255	25	27	52	—

- 受注案件受入増に伴う外部人材リソースを活用
- 大型業務受託案件の確実な取り込み
- 新規事業及びM&Aは考慮せず



平成30年3月期の計画(セグメント別状況)

コンサルティング/設計/構築

- 新規取引先の拡充と新規案件の受注拡大
- 外部人材リソースを活用した受注規模拡大
- 北栄社の業績拡大に伴うコンサル売上
- パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- 売上原価率上昇の歯止め

運用/保守

- システム構築後の保守業務受託
- ECサイトメンテナンス業務の維持、拡大

プラットフォームビジネス

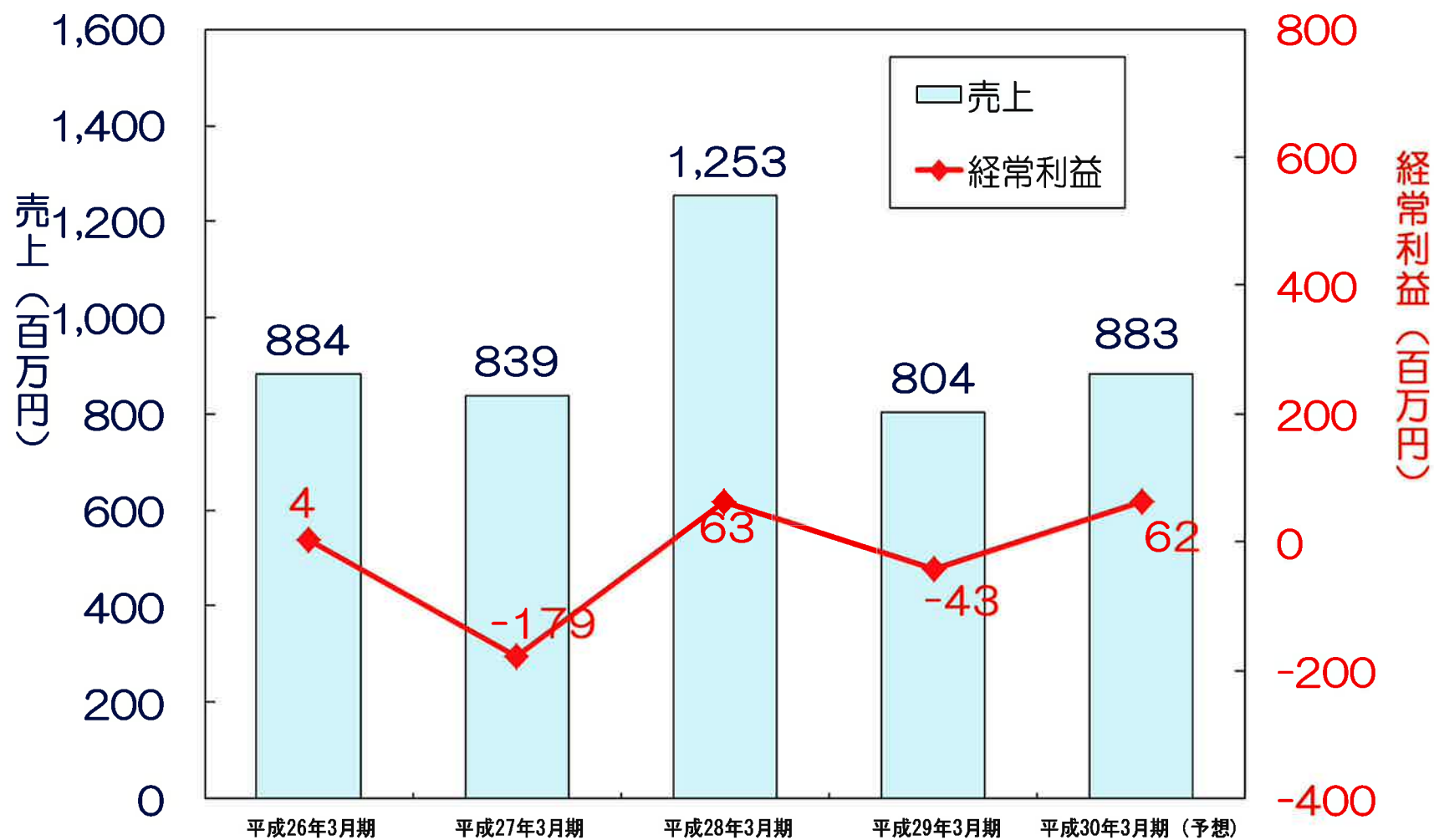
- セキュリティプラットフォーム
- 地域活性化プラットフォーム
- ヴァーチャルリアリティ ネットワーク化 (検討中)

商品販売

- セキュリティソフトライセンス販売の強化
(自治体営業強化/販売代理店拡充)

BPO/サービス

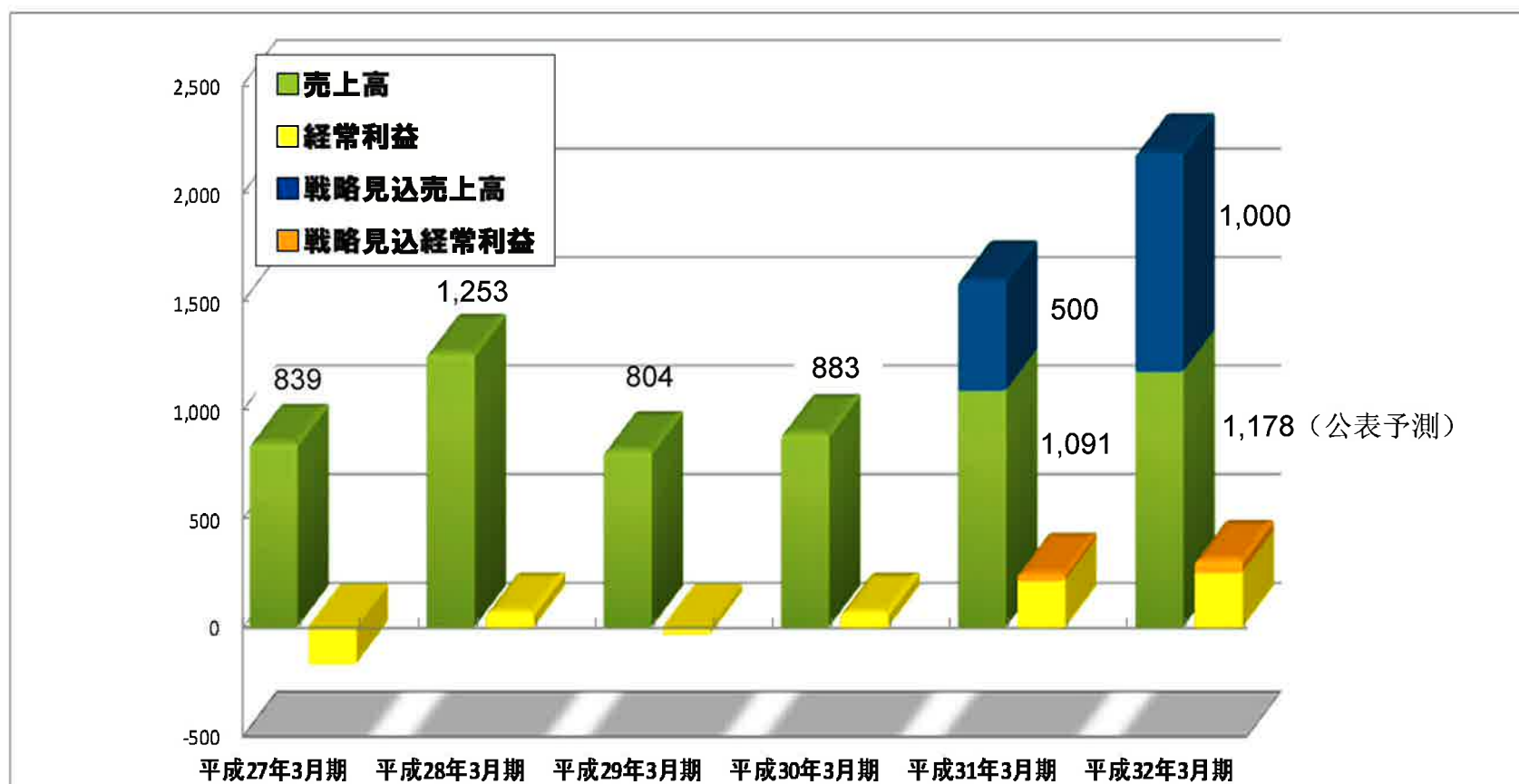
- 決済サービスを活用した新たな受注先の
開拓





3か年計数計画

■ 平成29年3月期	売上高	804百万円、	經常利益	△42百万円
■ 平成30年3月期	売上高	883百万円、	經常利益	61百万円
■ 平成31年3月期	売上高	1,591百万円、	經常利益	241百万円
■ 平成32年3月期	売上高	2,178百万円、	經常利益	303百万円

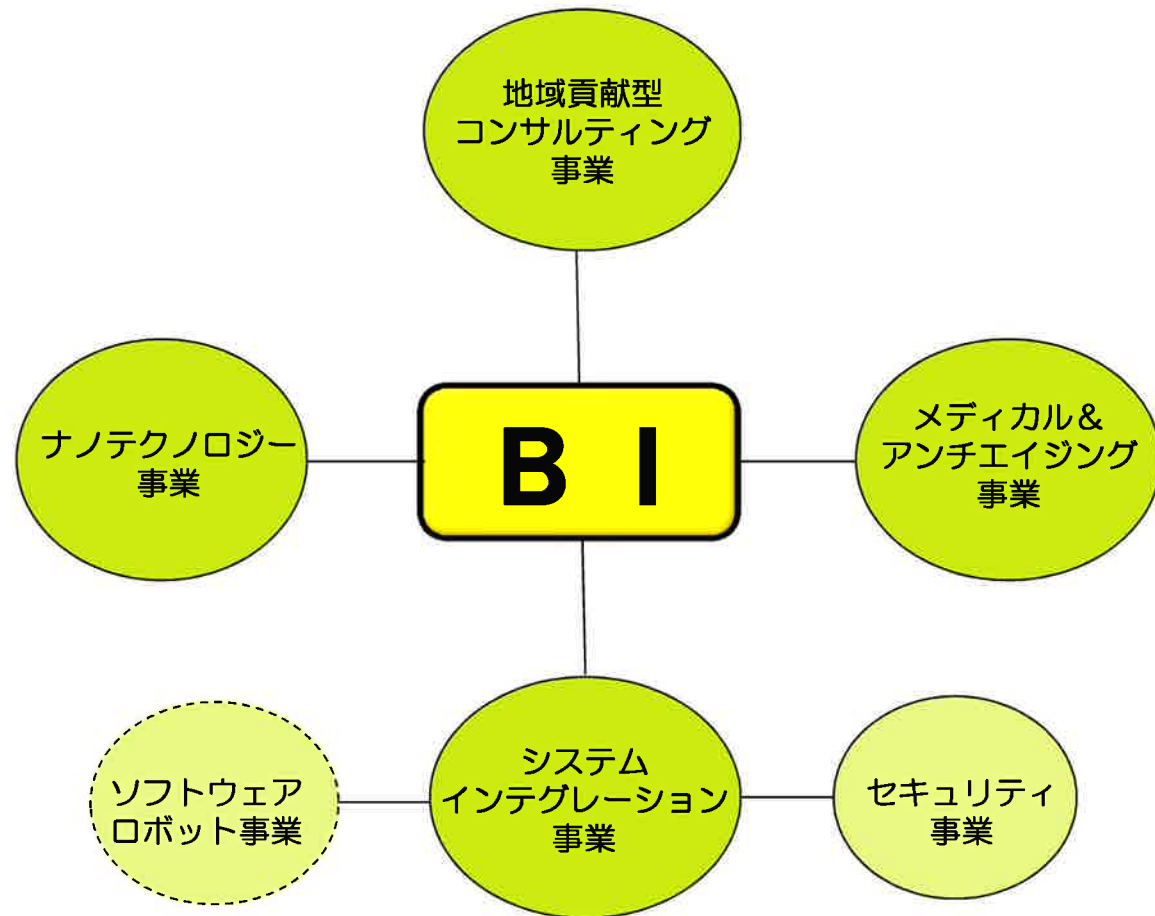


- I グループ概要
- II 平成29年3月期 決算概要
- III 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分
- IV 新設会社分割計画
- V 中期経営計画（計数計画）
- VI 今後の中期戦略

「システムインテグレーター」から「ビジネスインテグレーター」へ

ビジネスインテグレーションとは、革新著しいITを駆使した新機能やサービスを統合し、新しいビジネスモデルを創出することを意味します。

私たちは、これからの未来に向けて、独創的で高付加価値なサービス、製品を実現するため、様々なビジネスプラットフォームの構築に着手しています。



成長ビジネスへの積極転換(1)

1.コアビジネスの規模・機能の大幅拡充(システムインテグレーション事業)

「ビジネスインテグレーション」の実現を目指して

さまざまな経営やシステムの課題は、個別に考えるのではなく、常に同時にデザインし、相乗効果を最大限に発揮させることが必須となります。例えば、近年企業の課題となっているコンプライアンス（法令遵守）やセキュリティ対策においても、単にやらなければならないこと、コストアップ要因としてとらえるのではなく、企業全体の最適化の一環としてとらえ、業務プロセスやシステムの改善も同時にすすめ、トータルでのコストダウンや競争力の強化に結びつけるべきです。

当社は、企業のITパートナーとして、特定ベンダや製品に依存しない中立な立場をとり、戦略からシステム構築、構築後の運用や事業戦略に沿ったその後の拡張に至るまで、これらを総合的に支援し、最適な経営環境を実現する、先進ITを駆使するビジネスインテグレーションを実現いたします。

成長ビジネスへの積極転換(2)

2.地域貢献型コンサル事業の長期継続的成長（沖縄北栄等）

3.先行投資事業の拡大・収益化（メディカル＆アンチエイジング事業）

「メディカル＆アンチエイジングモール銀座」を展開しています

私たちは、医療、健康、癒しのサービス事業者が集結する複合モールを東京・銀座で展開しています。不動産の賃貸のほか、予約管理、集客支援、販売商品の提供や開発支援など、他企業とのアライアンスにより、スタートアップのお客様でも起業に必要な様々な機能をオールインワンでご提供いたします。

また本モールは、スタートアップの皆様を支援する機能だけでなく、不動産オーナーの方々へ不動産の有効活用をコンサルティングするショールームとしても機能しており、全国への拠点拡大を図ってまいります。

新規分野へのチャレンジ

1. ナノテクノロジー事業

人・動物の殺菌・防臭・脱色などの悩みを、ナノレベルの技術で解決する

現在、世界は抗生物質の蔓延により、ウイルスは耐性を高め、一説では2050年に世界で1,000万人が死亡すると言われ、日本政府も2020年までに抗生物質を30%削減することを発表しました。

私たちは、抗生物質やステロイドに代わる殺菌剤としてオゾンに着目。当社グループ化を検討している株式会社ブイエムシーは、腐食性が高く有毒な気体とされるオゾンを数十年にわたる研究開発により安全かつ安心なジェルへの封入に成功。数多くの特許も取得し、様々な企業に製品をライセンス提供しているオゾン業界のパイオニアです。

2. ソフトウェア・ロボット事業

グループ化経営の強化



本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

常務取締役経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。